

緊急経済対策で補正予算2380億円計上

大震災直後に次ぐ規模に

ワクチン種別 大規模会場2カ所設置



第354回定例会県議会を開き、緊急経済対策として6月補正予算案などを可決しました

第354回定例会県議会が6月1日から9日にかけて開かれ、緊急経済対策として延べ約2380億円を加える6月補正予算案などを可決しました。

阪神・淡路大震災直後を除くと過去最大の規模で、ほぼ国の財源を活用して編成しているのが特徴。既定予算と合わせて新型コロナウイルスの感染拡大防止や地域経済の活性化、県民生活の安定化に早期に取り込んでいきます。

コロナ対策では県警戒指標の最高レベルを超える「特別期」に専ら用病院などで1200床程度を確保できる予算を増額。神戸市以外の県民が対象の大規模接種会場も2カ所設置（西宮と姫路市）し、酒類販売事業者の月次支援金では国の対象要件の売り上げ減50%を30%に緩和して個人10万円/月、法人20万円を支給します。

ポストコロナ対応では中小企業が新事業を展開する補助制度を創設。感染状況を見極めつつ、宿泊・旅行代金を最大5千円まで補助する事業も準備します。（詳細は裏面掲載）



福島 茂利 議員
神戸市兵庫区

福島 2050年を展望する兵庫の新たな将来ビジョンで6つの基本姿勢と39の未来シナリオが示された。新ビジョンの策定を担う次期知事にどのような取り組みを望んでいるのか。

知事 進取の気性に根づいた兵庫を舞台に、県民とともに県政を推進する共通目標として新ビジョンの実現をリードし、具体化されることを期待したい。

福島 コロナ対応で過酷な

自由民主党 兵庫県議員団 代表質問

第354回定例会県議会（要約）

業務につく看護師の負担軽減を図る必要がある。看護師の資格がなくてもできる仕事を分けて取り組み、県内企業が開発した新技術を導入するなど負担軽減の対策も重要だ。

知事 病室等の自動消毒機の導入、清掃業務の委託化などで負担軽減をめざし、こころの健康を支援するため相談窓口を設置している。

自由民主党 兵庫県議員団 一般質問

第354回定例会県議会（要約）

山本 敏信 議員 高砂市

- ①地方分権と広域行政、関西広域連合の取り組みについて
- ②参画と協働の取り組みについて
- ③行財政構造改革と新しい条例に基づく3年目の見直しについて
- ④ポストコロナを見据えた強靱で元気な県土づくりについて
- ⑤創造的な改革の絶えざる推進に向けて

行財政運営方針見直しへ

県では行財政運営方針の策定から3年目を迎える今年度、財政フレームや取り組みを検証して運営方針の見直しに着手します。

阪神・淡路大震災からの創造的復興で悪化した財政を立て直すため、県では平成11年度から行財政改革を実施。30年度には県税収入などが支出を上回る収支均衡などを達成しました。

一方、震災関連県債の償還

が残る中、新型コロナウイルスの影響で令和2年度から県税収入が大幅に減少し、令和4～9年度にかけて総額330億円の収支不足が生じる見込みです。

見直しでは組織体制や事務事業、大型投資事業のあり方などを7月まで検証し、県議会に特別委員会を設けて来年3月末ごろの方針とりまとめをめざします。



議長に藤本百男（加東市）議員

副議長に谷口俊介（神戸市西区）議員

が就任しました

第354回定例会県議会の閉会日となった6月9日、正副議長

の改選が行われ、わが会派の藤本百男議員（加東市）が議長に、

谷口俊介議員（神戸市西区）が副議長に選ばれました。



藤本百男議員



谷口俊介議員

新執行部が決まりました

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 幹事長
小西隆紀
(丹波篠山市) | 政調会長
浜田知昭
(洲本市) |
| 副幹事長
伊藤 傑
(神戸市須磨区) | 政調副会長
福島茂利
(神戸市兵庫区) |
| 副幹事長
門間雄司
(豊岡市) | 政調副会長
富山恵二
(相生市) |
| 副幹事長
長瀬 猛
(神戸市東灘区) | 政調副会長
松本裕一
(加古川市) |



緊急事態宣言の延長を受けて、飲食店の経営支援や地域経済対策などを求めました



業界の窮状

県政に切実訴え

- 緊急事態措置内容の機動的な見直し
- 中小・零細企業への切れ目のない経営支援
- 民間病院等と協力した病床確保
- 県境を越える移動や屋外での飲酒の自

